



「ラーメン」ってなぜいうようになったの

中国語からきている

ラーメンは好きですか。塩ラーメン、みそラーメン、しょうゆラーメンなど、いろいろなおいしいラーメンがありますね。また、札幌ラーメンとか、博多ラーメンなど、土地の名前をつけたラーメンもあります。

ラーメンというのは、中華ふうのそばをスープに入れ、メンマ・焼きぶたなどをのせた食べ物です。「中華そば」ともいいます。

ラーメンの「メン（麵）」は、中国語では、小麦粉を意味します。

麵は、小麦粉に卵や水などを加えて、こね、手でのばして作ります。麵は、作り方によって、ラーメン（拉麵）、とうさく麵（はものでうすくけずった麵）、かん麵（切った麵）に分けられます。

ラーメンの「ラー（拉）」は、中国語で「引っ張る」という意味です。ですから、中国語の「拉麵」を直訳すると、「引っ張った麵」ということになります。

中国語でラーメンというと、麵そのものの意味しかありません。日本のラーメンのように、中に入るが入ったそばは、中国では、たんめん（湯麵）といいます。

焼きそばは、しるそばと区別しています。

とん骨ラーメン

とん骨ラーメンといえば、博多ラーメンや熊本ラーメンが有名ですね。とん骨は、ぶた肉の骨付きのあばら肉を使って、長い時間にこみ、こくのある白いスープをとります。これに、麵を入れ、いろいろな具をのせて、おいしくいただきます。（監修・青木 国夫）

